



コミュニティ・スクールだより

令和6年2月号 東温市立上林小学校

1月25日 東温市PTA連合会研修会～神野さん表彰・上林っ子児童質問～

毎年開催される本研修は、子供の幸せを願って、日頃から実践活動を続けているPTA会員が一堂に会し、共通する当面の課題について研究協議するとともに、相互の交流と理解を深め、新しい時代の要請に応じる望ましいPTA活動を積極的に推進することを目的としています。

上林小学校学校運営協議会委員であり、地域コーディネーター、愛媛県PTA連合会副会長、東温市PTA連合会顧問としても御活躍されている神野文さんが、日本PTA全国協議会会長表彰を受表彰されました。

また、やのひろみさんを講師としてお迎えし「迷ったら心がワクワクする方へ」と題し講演会が行われました。質疑応答の際には、250名以上の参加者の中、一番に挙手をして質問したのが上林小学校の児童でした。教員を目指していたやのさんの体験について、より深く知りたいと思ったことを積極的に質問する姿に、賞賛の声が上がりました。さすが上林っ子です。



5月に上林小学校で講演をされたやのひろみさんは、質問をした児童のことを覚えていてくださったそうです！



2月2日 学芸会

～保護者の皆様、地域の皆様、御理解と御協力をありがとうございました～

オープニングは、獅子舞の演出と1年生の開会挨拶でした。地域の秋祭りを紹介した後、上組と下組の獅子舞を模して子供たちが獅子舞を披露しました。秋祭りが大好きで地域の行事を大切に思っている子供たちから「獅子舞をやってみたい！」「地域の方が獅子舞をしているのがかっこよかった！」との声上がり、実現しました。太鼓のリズムや舞い方の違いに変化を付けながら、みんなでにぎわうお祭りをイメージして取り組みました。1年生は、一人一人が心をこめて、学芸会の目標を発表しました。ドキドキする心臓の音が聞こえてきそうなほど緊張しながらも、自分の思いを伝える姿に、1年間の成長が表れていました。



獅子舞にチャレンジ



1年生開会挨拶

全校合奏「聖者の行進」・合唱「いのちの歌」



1・2年生劇「ゆりざるちゃんの大作戦～上林の野菜を守れ!の巻き」は、地域の野菜づくり名人さんに教わりながら夏野菜を育てる中で、ハクビシンを捕まえた体験や学習をテーマにした内容でした。



3・4年生劇「しきび畑のえじろ狸」は、地域の方が栽培しているしきび畑に見学に行ったり、農家の方の苦労や努力から学んだりしたことをテーマに、上林にまつわる昔話と関連させたストーリーです。



5・6年生劇「私たちはどう生きるか」は、日常生活における「幸せ」について、様々な人の生き方や考え方から考えていくストーリーです。個性豊かな登場人物が「幸せ」について見詰め直し、自分らしく希望を持って生きていくことについて伝えました。6年生にとっては、最後の学芸会となりました。



伝統芸能「神楽」では、神楽保存会の方に御協力いただき、「大魔」の舞を披露していただきました。また、全校の子供たちに木刀を持って対決体験をさせていただきました。今年の大魔はとっても強く、会場は大いに盛り上がりました。神楽保存会の菅能英樹さん、日野隆さん、森幸一さん、菅原啓さん、森光夫さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。



合唱「ふるさと」では、卒業生の藤田結さんをゲストに迎えての独唱から始まり、2番・3番は全校児童と保護者、地域の皆さんと一緒に声を響かせました。



クローリングでは、6年生が代表して保護者の皆さん、地域の皆さんへ感謝の気持ちを伝えました。卒業までの登校日は、もう20日ほどです。また、卒業生と一緒に歌を歌ったり、手拍子をしたりして、会場を盛り上げてくれました。卒業生の皆さんのパワーはさすがです。さらに、会場の片付けも率先して手伝ってくださった保護者の皆様、地域の皆様、卒業生の皆さん、ありがとうございました。



卒業生の皆さん



段ボールで作った石室と6年生

～前園実知雄先生とのエピソードの御紹介～

5・6年生はふるさと学習で地域が誇る名所や伝統等について学習しています。「法蓮寺」の絵を描いてふるさとキーホルダーを作成した5年生児童が、前園先生にそのキーホルダーをプレゼントしました。他にも、5・6年生は、「風穴」や「白糸の滝」等、上林を題材にしたキーホルダーを作成しました。また、前園先生に教わった石室の話から、6年生は、ささゆり教室にある菅能宇吉さんが積んだ石垣（段ボール）を使って、石室づくりにも取り組んでいます。地域の方からの学びが学校生活に表れ、様々なアイデアに結び付いています。



5・6年生が作った
ふるさとキーホルダー

～高原カネ子さんとのエピソードの御紹介～
「伊予の大石回し」「四国の大石つかい」と呼ばれた上林出身の石工、菅能宇吉さんの末娘さんである高原カネコさんから小学校に葉書が届きました。葉書には、菅能宇吉さんのキーホルダーを作った6年生が、カネ子さんにプレゼントしたことへのお礼が記してありました。カネ子さんは現在97歳だそうです。「はるき君へ 心のこもったキーホルダーをありがとう。じいさんの積んだ石の形と同じように上手に描けていました。うちの人もよろしく言ってください。はるき君もお元気で。」
高原様、温かいお気持ちに感謝いたします。3月の遠足では松山城に行き、宇吉さんが積んだ本物の石垣を見る予定となっています。

～子供たちの感想より～

- ぼくは、5・6年生の劇が心に残りました。登場人物のせりふがよく伝わってきました。動きが工夫されていたので、笑いました。さすが5・6年生だなと思いました。3年 こたろう
- 1・2年生の劇でみおざるがすねているところがかわいかったです。ゆりざるちゃんの「ゆり」は、「ささゆり」からきている名前ということを知りました。3年 りんか
- 里神楽の大魔が怖かったけれど、闘うときに優しく木刀を合わせてくれたので、本当は優しいと思いました。もらった笹は家に飾っています。3年 なのか
- ぼくは、オープニングの獅子舞が心に残っています。獅子の中に入るのは初めてだったので緊張したけれど、自分なりに上手にできました。今年の秋祭りも頑張ります。4年 さく
- 1・2年生の劇でハクビシズが野菜を取るところが心に残りました。歌やせりふがよく分かりました。せりふを忘れずに言っていたのですごいいと思いました。4年 ゆづき
- 合唱・合奏の時、お母さんやお父さん、地域の人たちがいて緊張したけれど、歌もきれいな声で歌うことができました。4年 るみか
- 楽しかったことの1つ目は劇です。練習よりもゆっくりはっきりとせりふを言うことができました。観客の皆さんに楽しんでもらえて良かったです。2つ目は3・4年生の劇中歌「しんきょさん」です。観客として総練習よりも盛り上がり熱いライブになりました。5年 かい
- 今年の学芸会では、他の学年の劇の準備など自分の出番が多くてとても緊張したけれど、役目を果たすことができました。オープニングの獅子舞は、動きを忘れないか心配だったけれど、「いざ言うぞ！」となった時はせりふを思い出せたのでほっとしました。自分なりに頑張ったと思います。5年 ひより
- 1・2年生の劇では、「ぐーぐーすやすや」がとてもかわいかったです。3・4年生の劇では「ぼう！」のところがおもしろかったです。自分たちの劇では、せりふが速くならないようにゆっくり言おうと心掛けました。今までで一番良い劇にできたと思います。5年 みおり
- ぼくが特におもしろいと思ったのは1・2年生の劇です。劇の最初にみおんさんが「ぐーぐーすやすや」と言いながら寝ているところが好きです。1年生は初めての学芸会で、せりふを覚えて大きな声で言うことができてすごいいなと思いました。5年 いつき

- 初めての学芸会で浦島太郎の役をしました。釣り竿を小道具として持ってきて使ったり、いろいろな動きを付けたりとたくさん工夫をしました。せりふを覚えるのは大変だったけれど、みんなで楽しく劇をすることができました。来年も頑張ります。5年 たつみ
- 私が心に残ったことは2つあります。1つ目は劇です。今までの練習や準備をした日々も楽しかったし、本番では練習したことを思い出しながら、5・6年生で協力して今までで一番良い劇になったと思います。2つ目は合奏と合唱です。合奏ではシンバルを叩いて大きな音を出せるように頑張りました。合唱では、周りの声を聞くことに気を付けました。6年 ゆう
- 最後の学芸会はどれも全力で頑張りました。劇ではせりふを間違えないようにして、放送では詰まらないようにアナウンスすることに気を付けました。お気に入りの場面は、桃太郎・かぐや姫・浦島太郎・赤ずきんちゃんの4人で写真を撮るところと、チョビちゃんが活躍するところです。最高でした。6年 ゆめ
- 最後の学芸会で頑張ったことが2つあります。1つ目は合奏・合唱です。メロディが目立つように音をしっかり出すことに気を付けました。2つ目は劇です。聞き取りやすいように、せりふをゆっくり言うことができました。緊張して間違えることもあったけれど、みんなと楽しみながら劇や合奏・合唱をすることで良かったです。6年 しおり
- ぼくは最後の学芸会で、自分のやりたい役をすることができて良かったです。劇も合奏・合唱も、ほとんどミスをすることなくできたので、いい学芸会になったと思います。来年からは、みんなの学芸会を見るのがとても楽しみです。6年はるき

2月2日 学校運営協議会、学校関係者評価委員会

学芸会終了後学校関係者評価委員会を行い、今年度の評価をしていただきました。その後、学校運営協議会を行い、「今年度の反省と次年度の計画について」熟議を行いました。委員の皆様、貴重な御意見と御提案をありがとうございました。教職員が一丸となり、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。詳しい評価内容は、学校HPに掲載しております。御確認をよろしくお願いいたします。

生徒指導について

- 気持ちの良い挨拶や言葉遣いができている。今後も地道な指導をお願いしたい。
- 児童たちは共に言葉を交わし、仲間意識が強く、不登校を未然に防止している。情報モラル教室では親子で一緒に考える機会を設け、いじめ防止について学び良い機会を開催していた。

学習指導について

- タブレット端末を活用した授業や家庭学習が増えることによって、児童はICT機器の取り扱いに慣れてきている。
- ICT機器を有効に活用し改善が見受けられ、分かりやすい授業をしている。

豊かな心、健やかな体を育てる教育について

- 外部講師を招いての人権教育等も実施され、児童はいろいろな意見を発表しており、健全育成が日々推進されている。

特別支援教育について

- デジタル化を進めながら児童一人一人の反応を確認し、授業が展開されている。

安全・安心な教育環境の整備について

- 登下校時の見守り活動等、先生方が積極的に関わっていて安心である。通勤中に黄色のベストを着た保護者や地域の方を見掛け、安心して通学させることができる。
- 保護者の見守り活動が低調であり、平穏な地域だけに関心度が低いのでは。
- 下校時も地域の方々の見守りが必要なため、機会があるごとに取り上げていただきたい。

家庭・地域との連携について

- 体験学習については、地元の方々の協力の下、様々な取組をされ、充実している。準備等大変であったと思うが、来年度も積極的な取組をお願いしたい。
- 新たに野菜の作付けや病気・有害鳥獣の学習も行い、「星の郷」の見学やご飯づくり等、有意義な教育ができたと思われる。
- 校報皿ヶ嶺やコミスクだよりは、学校行事の様子や児童の元気な姿が載っていて、小学校がより身近に感じられる。続けてもらいたい。
- 地域と連携した活動が、地域の方からの提案によって年々バージョンアップしている。国の登録記念物となった「風穴」を取り上げてはどうか。

特色ある学校づくりについて

- ささゆり緑の少年隊活動は 30 年余りの歴史があり、先輩たちの植えた木を知るのも良い経験であると思う。

施設・設備の充実について

- 校内の掲示物の様子から、一人一人を大切に学習環境づくりが行われている。

その他

- 先生方が地域に溶け込んでいって、努力をしている姿勢は素晴らしいと思う。
- 地域行事に、休日にも関わらず先生方が参加いただくことにより、児童の参加が増え、地域との交流も図れるので、今後も無理のない程度で参加をお願いしたい。

2月19日 不審者対応避難訓練

「落ち着いて・考えて・真剣に」を目標に、命を守る判断と行動等について実践を通して学習しました。事前・事後指導では、児童は防犯笛や防犯ブザーの確認をしたり、事例を挙げて様々な状況における安全な行動について考えたりしました。校内に不審者侵入したことを想定し、教職員がさすまたを使って確保したり、警察に通報したりするシュミレーションも行いました。また、登下校中や学校外の場所で不審者に遭遇した場合の対処法について、クイズ形式で理解を深めました。後日行われた上林少年健全育成・学校安全委員会でも話題に取り上げられており、警察との連携も重視していきます。



2月20日 上林少年健全育成・学校安全委員会

第2回上林少年健全育成・学校安全委員会が行われました。児童の実態と生徒指導上の取組について説明させていただき、委員の皆様から御意見や御提案をいただいたり、情報提供していただいたりしました。自転車に乗る際のヘルメット着用や挨拶、SNS使用上における注意点等も話題に挙げられました。地域の役員、委員の皆様、大変お世話になりました。いただいた御意見を基に、子供たちの安全指導に努めてまいります。ありがとうございました。



2月21日 自転車教室

3年生以上の児童を対象に、自転車教室を実施しました。松山南警察署の方から一日の交通事故の発生件数を聞き、事故は身近にあることを実感したり、ヘルメットの役割や手信号について学んだりしました。その後、自転車に乗って実技指導をしていただきました。踏切や信号機、大きな壁等のある場所での注意点を気をつけながら、自転車走行の知識や技能を身に付けました。高学年は、坂道での走行についても教えていただきました。代表のお礼のことばでは、もうすぐ中学校に通う6年生が、登下校時に気を付けたいことを伝えました。松山南警察署、松山南交通安全協会、東温市交通指導員、東温市危機管理課の皆様、寒い中大変お世話になり、ありがとうございました。また、上林地域からは、平岡尚徳さんと八木利文さんが来校され、御指導くださいました。

